

# 本覚寺々報

第34号  
—発行日—  
令和5年2月5日



## ごあいさつ

住職 波多野 真公

最近、ウクライナ紛争の影響等もあり、色んなものが値上がりして私たちの生活を直撃しています。

電気料金もその一つですが、値上げがあっても真っ暗のなかで生活することはできません。それどころか、街のなかでも家のなかでもたくさん光が輝いています。ですから、眼を閉じない限り漆黒の闇のなかに身をおくことはほとんどありません。

漆黒の闇といえば長野の善光寺には有名な「戒壇巡り」があります。解説によると「戒壇めぐりとは、狭くて暗い場所を通り抜けることによって穢れが祓われて生まれ変わるという修行のこと。暗所の道をたどることによって人間の心身を清め、菩薩に導かれて必ず極楽へ往生

することが出来ると言われている」とあります。浄土真宗的に修行云々は置いておいて、手すりに導かれて出口が近づくにつれ、光が差し込んできたときの安堵感に不思議な気持ちになります。つまりこれは明るさを実感するための闇なのだと思います。にはおれません。

親鸞聖人は、『教行信証』の総序の文に「無碍の光明は無明の闇を破する慧日なり」（何ものにもさまたげられない阿弥陀さまの光明は、迷いの根源である無明の闇を破る、太陽そのものである）と示されました。「無明」とは煩惱にとらわれて仏法の導きが私に届かないことを言います。その私に阿弥陀さまの救いの光は、大いなる安堵とともに喜びを届

けてくださいました。その光が届いたとき、どれだけ長い間、闇に閉ざされていても一瞬にして闇は去ってしまいます。長く続くコロナ禍において、なんとなく出口が見えてきたかのように見えるなか、その阿弥陀さまのみ教えを現代に伝えて下さった親鸞聖人の御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要がこの春務まります。感染に注意して盛大にお祝いしたいと思います。

合掌

## 花蓮の会

四月九日

春の日差しの中、泥にまみれながら約五十個の鉢を運んでいく。庭師さん、仏教壮年会の方のご協力です。難なく作業が進んでいきます。まだまだ若い者には負けると皆さんパワフルです。毎回思うのは仕事が速いこと。お昼（バーベキュー）まで時間がありますからゆっくりでいいですよと言っているのに一時間ぐ

らいで終わってしまう。それでも作業しながらの四方山話がまた楽しみの一つです。花蓮は永代経法要の時期が見頃。お寺にも写真家さんが時折見えられます。写真投稿もお待ちしております。

それに今回はひよんなことから、町内有志によるお蕎麦もご相伴にあずかりました。その腕前は確かなもので、皆さん舌鼓を打っておられました。そんなこともありますので、是非とも今年の植替えもお手伝いをお待ちしております。



# 初参式

六月十二日

お父さんもお母さんも、お兄ちゃんもみくんな仏さまの子！仏さまって何？どこにいるの？おてて合わせてまんちゃん！ほら、声の仏さま。ちゃんとここにいますよ、いつも一緒だよ。

鈴木 陽香ちゃん（上浄法寺）



# 永代経開闢法要

かいびやく

七月十五・十六日

永代経とは「永代読経」の略で、子や孫に、次の世代の多くの人々に永代に渡ってお経が読み続けられ、仏さまのみ教えが伝わっていくことを願うものです。世間で言われる永代経には永代供養という意味があるようですが、浄土真宗ではそのような言葉は用いられません。ご先祖に読経をすることが永代供養であるならば、そもそもお経の意味をはき違えています。お経は受け取る側、つまり聞き手はこの私なのです。亡くなっていかれたお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、そして我が子、孫に先立たれた逆縁もあるでしょう。未だ悲しみの癒えないご家族もおられることでしょうか。それでも、深く悲しむということは、それだけその人のことを想っているからです。悲しみ苦しみから逃れられない、そんなあなたを救わずにはおれない、放ってはおけないと願っ



てくださるのが阿弥陀様です。お経はそうして亡くなっていかれた方が私に届けてくださるメッセージなのかもしれません。

~~~~~

日程を二日間に戻しました。お斎（食事）はまだ控えさせていただきますが、お参りの方も少しずつ増えているようです。今後も気を緩めず感染対策をして法要に臨みます。

# 報恩講

十月五・六日

「報恩講」は本願寺第三代宗主、覚如上人が永仁二年、親鸞聖人の三十三回忌に「報恩講私記（式）」を作成し、親鸞聖人御真影の前で拝読されたのが始まりとされています。それ以来、本願寺では報恩講が勤められ、報恩講私記（式文）が拝読されるようになりました。式文には親鸞聖人に対する深い謝意が表明されています。当山ではご満座に式文、







く三宝(さんぼう)を敬え。三宝とは仏法僧(ぶつぽうそう)なり。それ三宝に帰(よ)りまつらずは、なにもつてか枉(まが)れるを直(ただ)さん」と言われました。仏・法・僧の三宝をよりどころとして生きてゆくとき、はじめてねじ曲(まが)った子どもの心を正しく直してゆくことができるのだとおっしゃったのです。

奇しくもこの時期にロシアのウクライナ侵攻がありました。私たちはあらためて太子の言葉を仰ぎ、自らを省みる必要があるでしょう。親鸞聖人も「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と願われたお言葉が痛いほど身に染みてきます。

○聖徳太子孝養像御開帳迫る

本堂の向かって左余間に安置されている、聖徳太子孝養像の御開帳を近々執り行いたいと思います。最後に御開帳されたのが昭和四十七年頃ということですから、約五十年ぶりとなります。詳細は追って御案内させていただきます。

寺だより

お正信偈の『五劫思惟之攝受』というご文が気になっている。こむっかしい、学術的なことではなくて、単純に「五劫のあいだ思惟する」ということについて。「劫」とは仏教で時間をあらわす単位。説明の仕方はいろいろあるが、要は極めて長い宇宙論的な長さのことである。それほどの時間をかけて思惟を重ねるといふことの意味について。

阿弥陀如来は法蔵という菩薩の位にあられた時、たすかるはずもない衆生をなんとか救う手だてはないものかと、長い長い思惟の果てに浄土を建立された。考え事をしていて思い当たるのは、途中雑念が入ったり、あれ？これは違うぞと方向修正したりして、そのうちぐるぐると空回することも多々あるのだが、「五劫」という途方もなく長い長い時間をかけて思惟を巡らすということは、それだけ思考の深さや質の高さを約束するものである。

翻って今の我々はどれほどの思考をしているだろう。わからないことはPC、スマホでササッと検索。辞書を引いたり図書館に通うこともなく、途中で道草したり拾い物をするともなくピンポイントで知りたい情報にたどり着く。テレビやネットから流れてくるトピックをそのまま受け取り翌日の話のネタにする。多大な情報の波の中で我々の思考はどんどん浅く薄くなっているのではないだろうか。

今問題となっているカルトもそうだ。思考しない、思考させないようにし、都合のいい解釈で一方的に突き進んでいく。思考停止はもう話にならない。定められた価値観に固執し、そこから引き戻すには多大な思考と労力を必要とする。

フランスの哲学者パスカルは「人間は考える葦」だと言った。一人一人の人間は取るに足らないか細い葦のような存在だ。それでも人間は右へ左へ嵐に吹き荒ばれながらも考え続けることでこの世界を営んできた。そしてこれからも、考え続けること、思惟を巡らすことの意味を思う昨今である。

：この原稿を書いていたら今度はチャットGPTの話題が出てきた。どうなる人間。

・ホームページのご案内 <http://hongakuji.gionsyouja.com/>



パソコン用



モバイル用

・Facebook「本覚寺波多野」「和田山 本覚寺」



本覚寺波多野



和田山 本覚寺



LIVE 配信しています





# 令和五年 年回法要表

|      |    |              |
|------|----|--------------|
| 一    | 周忌 | 令和 四 年 歿     |
| 三    | 回忌 | 令和 三 年 歿     |
| 七    | 回忌 | 平成 二 十 九 年 歿 |
| 十三   | 回忌 | 平成 二 十 三 年 歿 |
| 十七   | 回忌 | 平成 十 九 年 歿   |
| ※二十三 | 回忌 | 平成 十 三 年 歿   |
| 二十五  | 回忌 | 平成 十 一 年 歿   |
| ※二十七 | 回忌 | 平成 九 年 歿     |
| 三十三  | 回忌 | 平成 三 年 歿     |
| 五十   | 回忌 | 昭和 四 十 九 年 歿 |

※印は地区によってされないところもあります

○令和五年の年回法要表です。

お仏壇の過去帳・御位牌をご確認下さい。年忌申込の際は、

氏名・住所・電話番号  
年回の種類・法名

を必ずお知らせ下さい。

御上(御前・稚姫)ご招待、もしくは法務員のみのお招きもお願いいたします。

○過去帳・御位牌の法名記入承ります。

○お念珠修理承ります。紐が切れて使えなくなっているお念珠がございましたらお気軽にお申し付けください。

## おくやみ

- ・笹木 信一様(86) 栃原 六月二十九日
- ・齊藤 継治様(97) 赤尾 十一月十三日

この度、村の道場役でありました笹木様、齊藤様がご逝去されました。当山のお世話方として、村の中心となってお尽力くださいました。心よりお悔やみ申し上げます。

## 仏事のイロハとそと

○いつまでに？

よくこんな質問を受けます。亡くなられると臨終勤行(枕経)に寄せていただきます。仏花は櫛(青木のもの)に、打敷(三角の布)は白地(裏返し)にします。「お花はいつ入れ替えれば良いですか?」「打敷はいっ直せばいいの?」というものです。

御本山で制定された作法はある

のですが、ご家庭では特にこだわらなくても良いでしょう。あえてお答えするならば、お花は初七日あたりを目安に櫛(青木のもの)から生花(赤色を避ける)へ、打敷は四十九日を終えたら替えれば良いでしょう。お墓や大谷本廟への納骨の時期についても同じことが言えます。いつまでに納骨しなければならぬという期限はありません。天候や時節柄によって、不可能な場合もあります。また遅くなったからといって悪いということもありません。亡くなった方が悲しむ、祟るなどもってのほかです。それでも気がかりで落ち着かないということはあると思います。ご相談、日程等確認の上対応させていただきます。

○まずはじめに

亡くなられると先に連絡をされるのは葬儀社さんになるのでしょうか。できましたらまずお寺にご一報いただけるとありがたいです。他に葬儀が入っている場合もあります。日時の相談などはご了承ください。

## 仏事のイロハ~その式~

### ○帰敬式（おかみそり）について

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮らしを送ることを誓う、私たちにとって大切な儀式です。

#### 《執行日時とお申込み》

- ・ **執行時刻** 1月1日・1月16日の晨朝後および1月8日・12月20日の終日を除く毎日2回  
 午前の部・・・晨朝（朝のお勤め6時より）後引き続き  
 午後の部・・・午後1時30分（ただし、本山恒例法要日は、午後1時執行ですのでご注意ください）
- ・ **お申込み** 午前の部は晨朝前、午後の部は執行時刻の1時間前までに、参拝教化部（龍虎殿）までお申し込みください。  
 なお、所定の申込書を事前に作成・郵送していただきますと、受付時にお待たせすることなく受式いただけます。
- ・ **冥加金** 成人 10,000円／未成年 5,000円
- ・ **留意事項** 特に法名の内願（希望する文字が入った法名）をご希望される方は、2ヵ月前までに所属寺院ご住職からのご申請が必要となります。その場合、内願法名懇志として別途1万円以上をご進納ください。  
 基本的に帰敬式は御本山（西本願寺）で受式していただきますが、稀に地方での法要の際にご門主もしくは代理の者が行う場合があります。お手次の寺院が帰敬式を行うことはできません。法名をお渡しすることができるのは亡くなられて臨終のお勤めに伺った時のみです。

### ○大谷本廟へ納骨について

当山は祖壇納骨です。祖壇には、親鸞聖人のご遺徳を慕い、お側にありたいとの願いから、年間約12,000件もの納骨が行われ、全国の門信徒の方のご遺骨が納められるとともに、宗祖親鸞聖人の墓所を今に受け継ぐ本願寺発祥の基として多くの方のお参りがあります。

- ・ **納骨届** 寺務所にございます。ご希望の方はお申し付けください。案内等と一緒に必要書類をお渡しいたします。

※その他不明な点がございましたら寺務所までご連絡ください。

本覚寺寺務所

Tel 0776-63-2055

Fax 0776-63-1088



## 新法務員紹介

そのくら  
園倉 乗儒 (25)



昨年十月より本覚寺に勤めさせていたでいております。出身地は福井市で、実家は同じ本願寺派のお寺です。高校を卒業後に上京。その後、京都の中央仏教学院へ入学、卒業しました。とは言えまだまだ分からない事だらけで日々勉強の毎日です。こんな私ではございますが皆様と一緒に念仏、仏法をお味わい出来たらと考えております。これからどうぞよろしくお願ひします。

寺務所にも若く新鮮な力を与えて来ています。お参りに伺った際にはどうぞお育てをお願いいたします。

### ○メダカお譲りします

日常の中で自然を身近に体験できるアクアリウム。特にメダカは鑑賞魚の中でも丈夫で飼いやすく、ドジョウ、エビ、タニシ、水草など様々な生き物と混泳できます。水槽(三十センチで五、六匹)、ろ過装置、カルキ抜き、バクテリア、底砂、餌をご用意ください。さらにヒーターで水温を二十六〜二十八度に設定すれば、冬眠することなく通年元気な姿を見ることが出来ます。

小さな命を通して人と自然との関わりを見つめる良いご縁になるのではないのでしょうか。お気軽に寺務所へお声掛けください。



## 本覚寺懇親ゴルフコンペ参加者募集

皆様からのご要望にお応えして本年より感染症対策を十分に行った上で、懇親ゴルフコンペを復活いたします。6月に予定いたしておりますが案内を希望される方はご連絡ください。性別・年齢を問わず募集しております。

Mail [wadsanhongakuji@gmail.com](mailto:wadsanhongakuji@gmail.com)

TEL 0776-63-2055 (寺務所)

担当 寺務所 宮口昌之

## 本覚寺文庫



渡り廊下の一角に文庫コーナーがあります。難しい仏教関連の本というよりは、小さいお子さんが読めるような絵本や、大人でも手に取りやすい内容の本が並べられています。

本を通して今まで全く気づかなかったことや、意識してこなかったことに出会うきっかけになるかもしれません。是非、お寺にお参りの際には少し立ち止まって読んでみてください。

令和5年 本覚寺行事予定

|             |           |                 |
|-------------|-----------|-----------------|
| ◆修正会        | 一月一日      | 流杯の儀            |
| ◇御年頭        | 一月一日・二日   |                 |
| ◆御正忌        | 中止        |                 |
| ◇門徒大会       | 中止        | 別途案内            |
| ◆仏壮・仏婦合同報恩講 | 三月十九日     |                 |
| ◇勝山支坊太子講    | 三月三十一日    |                 |
| ◆花蓮の会       | 四月一日予定    | 午前九時より蓮植替え      |
| ◇花まつり       | 検討中       | 保育園・幼稚園・小学生、参加員 |
| ◆慶讃法要団参     | 四月十二日     | 福井組             |
| ◇懇親ゴルフコンペ   | 検討中       |                 |
| ◆降誕会・初参式    | 六月十一日     | 別途申込            |
| ◇勝山支坊永代経    | 六月三十日     |                 |
| ◆清掃奉仕       | 永代経前      | 仏婦              |
| ◇掛所盆参り      | 七月十四日     | 十八時より読経         |
| ◆永代経        | 七月十五日・十六日 | 開闢法要            |
| ◇納涼法話会      | 検討中       |                 |
| ◆清掃奉仕       | 報恩講前      | 仏婦              |
| ◇報恩講        | 十月四～六日    |                 |
| ◆勝山支坊報恩講    | 十月二十一日    |                 |
| ◇除夜会        | 十二月三十一日   | 二十三時四十五分頃       |

感謝録

お供え

(敬称略)

菓子 塚谷 徹雄 北四ツ居  
 梨 鹿野 啓信 小塩辻  
 果物 今宮 忠夫 乙坂今北  
 酒 帰山 信勝 猪野口  
 朝田 勇次 春江  
 斎藤 敏昭 舟寄  
 青木 保憲 東古市  
 野澤 雄一 東二ツ屋  
 坪川 良一 東諏訪間  
 宮川 純治 北西侯  
 舟木 政美 大和田  
 山内 昭孝 里別所  
 清水 勲 大月  
 与佐岡 賢治 鯖江  
 田中 克治 重立  
 山本 清勝 笹尾  
 斎藤 治一 妙金島  
 前田 清司 阿難祖  
 富田 幸二 上北野

寄贈

ビール 富田 幸二 上北野  
 蠟燭 齊川 嘉長 光明寺  
 書籍 小鍛冶 徳夫 光明寺  
 ご奉仕 蓮植替え

蕎麦会 伊藤 修二 東古市  
 長谷川 範一 東古市  
 仏教壮年会、仏教婦人会

除夜会手伝い

仏教壮年会有志

帳場その他お手伝い

仏教壮年会、仏教婦人会

おみがき

年末 末政御同行

厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

編集後記

私事で恐縮ですが、自坊の住職継職をさせていただきました。行き来することが多くなるかとは思いますが、こちらの法務もより一層精進してまいりたいと思えます。行事も少しずつ元に戻していければと思えますが、引き続き注意してお過ごし下さい。(道場)

ここに第三十四号をお届けします。

皆様方の寺報原稿お待ちしております。写真や絵、俳句などでも結構です。どうぞご投稿下さい。

発行所 浄土真宗本願寺派

和田山 本覚寺